

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	吉永美術館管理運営事業		コード	担当課	吉永美術館
			03-03-01-04	担当者	金藤康樹
事業実施期間	平成2年～		電話	84-3839	
総合計画 事業（政策）体系	大項目	地域文化と人が輝くまちづくり			
	中項目	歴史と文化の輝くまちづくり			
	小項目	文化芸術の振興			
	施策	文化施設の適正な管理運営			

事業について	
目的	郷土に関する資料の収集・保存を行うと同時に、展示によって郷土の歴史や文化についての理解・認識を深め、郷土の財産として後世に伝える。また、貸しギャラリーとして貸館業務を行う。
対象（誰のために）	郷土の歴史に興味のある方、美術品をギャラリーとして展示したい方。
内容	常設展による郷土著名人等の作品展示及び企画展として民間団体と共催し市内学童の絵画を展示

事業の結果	17年度		
実施項目	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
入館者数	800 人		
開催日数	126 日		

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	1,327	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	1,085	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	2,412	一般財源等	2,412	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.10	人		
結果指標名	入館者数			
結果指標量	800			
単位	人			
対前年比	—		0.00%	
事業費	2,412,000	円		円
単当たりコスト①	3,015	円		円

結果指標名	開催日数			
結果指標量	126			
単位	日			
対前年比	—		0.00%	
事業費	2,412,000	円		円
単当たりコスト②	19,143	円		円

事業の成果	17年度		
成果指標名	年間入館者数	式又は説明	年間を通した入館者数
成果指標量	800		
対前年比	—		0.00%
到達目標値	1,000	到達目標年度	平成20年度

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	郷土著名人の美術品等を所蔵しているものの、観覧者が満足する展示が出来ていない。そのために学芸員等を専属職員配置し内容の充実した展示をするべきである。
	対象の妥当性	
	市民ニーズの妥当性	
効率性の評価	市民ニーズの妥当性	専属の職員の配置もなく公民館職員で対応しているため、コスト的には削減はされているが、事業内容の有効性が伴わない。
	市の関与の妥当性	
有効性の評価	コストの効率化	専門職員を配置し展示内容、所蔵品等を充実させることにより、成果は向上すると考える。
	手段の最適化	
	職場の効率化	
総合評価	目的達成度	評価区分 <A~E> D
	成果向上の可能性	
コメント	市民参画度	所蔵品・展示内容の充実を図るため専門職員の配置が望まれる。
	総合評価	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

総合評価	評価区分 <A~E> D
コメント	所蔵品・展示内容の充実を図るため専門職員の配置が望まれる。

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度結果指標量①	900	結果指標量②	150
目標値	結果指標量	1,000	

改善事項	改善により期待される効果		
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	専属職員の配置	平成18年度	専属職員の企画による内容の充実